

No. 134

総代会報告号

E-mail: [koreikyo@poppy.ocn.ne.jp](mailto:koreikyo@poppy.ocn.ne.jp)

URL: <http://miyagi.koreikyo.jp/>

本日は、宮城県高齢者生活協同組合「第22回通常総代会」にご出席いただきありがとうございます。今年度は、パンデミック(伝染病が広域感染拡大すること)で多くの総代の皆様は、書面での出席となりました。昨年の10月に開催された臨時総代会では、再建の見通しが立ち、その再生計画を承認していただきました。その時も台風で、公共交通機関が全面ストップし、多くの総代さんが出席出来ず、書面議決による総代会でした。

### 開会の挨拶

理事長 丹野幸子



起死回生できたのは「宮城高齢協を破壊せよ」という一点で、宮城県生活協同組合連合会、ワーカーズコープ、日本高齢者生活協同組合連合会の3団体が、それぞれが持っている力を合わせて、財政支援と発展のための道筋を付けていただいたからです。

生活協同組合の第6原則に、「協同組合間協同」がうたわれてはいますが、私たちにとっては望外な「協同の支援」でした。そして、創設時から支えてきた組合員の方々、事業所の職員、利用者家族、身近な地域の組合員の皆様方による大きなバックアップがあったからです。

「自発的に手を結んだ人々の自治的組織」である生協の基本を、まよまよと実感し、わが高齢協の自覚的な組合員の姿に胸を打たれました。財政が困難だと知るや、「高齢協の旗を降ろすな」と、出資、債券の支援をして下さいました。皆様にあらためて感謝とお礼を申し上げます。結果として、資産売却、そして4つの放課後サービス事業所

はワーカーズコープに経営移管という形で支援をうけていただきました。これからは、小規模多機能型居宅介護事業所の「いのり庵(いのりあん)」、仙台市指定管理事業「泉中央老人福祉センター」の2つの事業所を柱に、これまでの実績の上に新たなアクションを起こし、地域になくはないという運営を目指し、さらなる展望を開かなければなりません。

私たちの道のりはここで終わりではありません。また再建途中、2020年度は経営再生への道、中期計画初年度へと進みます。困難から学んだ教訓を現場に生かし、事業と運動に挑戦します。そして、現場の職員と自由闊達に話し合い、互いの信頼とモチベーションを高め、再生への道筋を固めていきます。組合員をふやかし、新しい仲間と共に、明るく、活々とした、魅力的で希望のある高齢協運動をめざします。

本日のこの「第22回通常総代会」を、宮城高齢協の新たな再生の歴史をスタートさせる記念日、決起の日にしたいと思います。

## 議案指提案

副理事長 伊藤憲仁

### 第1号議案

「2019年度活動報告及び決算承認の件」

### 第2号議案

「2020年活動方針及び予算決定の件」

### 第3号議案

「役員選任の件」

### 第4号議案

「役員報酬限度額決定の件」

### 第5号議案

「議案決議効力発生の件」

の提案を行いました。

監査報告が二船洋人監事よりあ

りました。

## 総代よりの発言

### いのち庵じぶ・小宮眞理子総代

4月現在の利用者数が24名中2名の減へ、早急に新規の利用者さんを募集しなければならない状況にあります。6月に閉鎖する事業所の情報があり、そこから1名の利用者さんを紹介され、お試し後利用決定の予定です。

5月には泉中央老人福祉センターの職員が見守りや掃除の応援をしてくらい、じぶし職員不足の中、大変助かりました。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止により、家族の面会の遠慮、ボランティアの受け入れ中止をしております。職員や利用者の検温や手洗いの消毒を励行し、1名でも感染となればクラスターの発生源となり、1時的な閉鎖もありうるので運営の安定を図るためにも緩むことなく感染予防を徹底しています。

### 泉西部地域福祉事業所

#### 永野まの子総代

新型コロナウイルス感染症の拡大防止により4ヶ月間活動を休止しておりますが、寂しい思いをしながら相談に来る人がいたり、介護の不安などで電話をもらったりして、お互いの安全確認をしております。

この一年は経営危機打開に集中せざるを得ない状況の中で、地域の組合員さんの努力で、生活支援の取り組みが続けられてきました。今後、地域包括支援センターからの要請に答えるついで、仲間作りにする助け合い

運動を高齡協運動として高め、取り組むことが必要です。

### 杉本孝総代

高齡協は高齡者の為だけではなく、職員、個人も医療と切り離せなく、自分の健康守ることが大切です。コロナはなくなりませんが、専門家の話を良く聞く機会を高齡協で作ってほしいです。

今日の歯フリンのプレゼントは

「病は口より入る」といわれるので、口をきわいにするのは大切なことです。知識を身につけるためには、高額の支払いがあるものではなく、高額でなくても有料で医師を呼んで専門知識や情報を聞くべきで、自分の健康を保つことができなければ、他の人を見ることができません。組合員自体が自分の健康を大切に活動するべきだと思います。

### 大槻健二総代

石巻のパンロン教室について、パンロンを通じた交流をしたいと考えています。パンロンに興味のある人を増やすことで、組合員を増やすのに役にたっています。石巻

のやり方から出発して増やしていきたいです。

### 指定管理事業

泉中央老人福祉センター・半澤晃館長  
老人福祉センターは60歳以上の仙台市民が利用する施設です。①健康や生活の相談の対応の趣味の教室開催による生きがい活動の提案②介護予防事業による健康の増進を図る④各サークル・愛好会の活動支援⑤元気高齡者が活躍できる場の創造などの役割を担い指定管理期間5年の最終年を迎えました。この秋に次期指定管理の受託を目指します。

老人福祉センターは「コロナ禍」により3月5日から臨時休館となりました。休館期間中職員は感染防止対策及び安全対策の徹底に努めました。また、休館中に利用者さんや組合員の方に安全確認を兼ねてセンターの状況報告の電話を入れました。高齡の方や健康問題を抱えている方、社会情勢がよくわからずただ不安を募らせている方、外出の機会が減り足腰が衰えた方など、多くの情報を得ることができました。6月1日より開館となりましたが、未だに不安

で外出できず自宅に引きこもる方への心配がなされます。その方々にきめる支援をきめることが私たちの役割ではないかと考えています。

**まよひ 副理事長 伊藤 正一**

積極的な意見あがりがいいと思います。

その今日も、「コロナ禍の中、予想を上回る多くの総代が参加され、書面議決をきめるものの総代が参加されて、かつてない規模の総代会となりました。理事会一同誠に感謝しております。あらためて事業と運動は両輪だと感じました。たえず運動体としての意識するようが大事で、組合員の要求を実現していくことで喜びが広がります。高齢協は様々な団体の支援を受けて組合員を増やしながら共に学びながらいきたいと思います。そして高齢協の組合員の中には医者や専門家が多いので共に学びの機会を活発にしていきたいと思っております。

第三号議案「役員選任の件」については最小限の賛成したもので承認をいただくべく、ご協力をお願いいたします。

いただきます。常勤役員はなくなるので予算も最小限になり半分削減になる予定です。

そして貴重なご意見を是非掛かりにして、高齢協運動や新たな経営の確立も目指していきたいながら、皆様のおかげのおかげで展開のある高齢協を目標としていきますので、ご協力をお願いいたします。



**資格審査委員会報告**

資格審査委員長の藤田均より、本総代会は、総代定数100名に対して、本人出席22名、書面出席63名で合計85名出席があり、本総代会が成立していることの報告がありました。

**採決**

各議案についての採決の結果は次の通りです。

**第一号議案**

「2020年度の活動報告及び決算承認の件」 **(結果) 満場一致で採決**

**第二号議案**

「2020年活動方針及び予算決定の件」 **(結果) 満場一致で採決**

**第三号議案**

「役員選任の件」

**(結果) 賛成多数で採決**

**第四号議案**

「役員報酬限度額決定の件」

**(結果) 賛成多数で採決**

**第五号議案**

「議案決議効力発生の件」

**(結果) 満場一致で採決**

**アピール提案と採決**

渡邊せつ子総代よりアピールの提案があり、満場の拍手で採決されました。

採決されたアピールは別紙にてご覧下さい。(概略は以下の通りです)

「宮城高齢協は昨年、負債を抱え、深刻な経営困難に陥ったが、全国の高齢協連会や宮城県民生協同組合連会、ワークスコープ東北事業本部の支援を得て、再建への新たな道に踏み出しました。

高齢者やそのご家族、高齢者を窮地に追いやり、医療や社会保障をないがしろにする政策、保健所や医療機関・介護福祉施設が倒壊の危機にある実態が如実にあります。

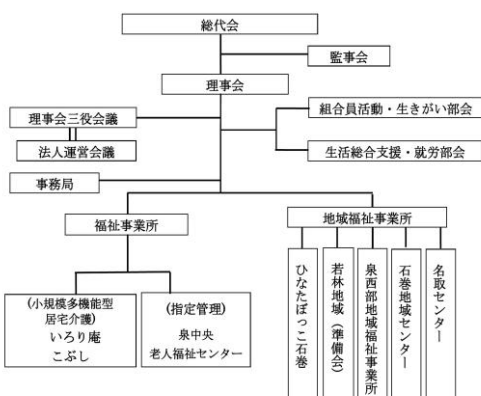
今こそ私たちは、政府の政策を転換させ、だれもがともに支え合い、ともに生きられることができる地域社会づくりをめぐって力を合わせなければなりません。

私たちは豊かな活動の教訓を蓄積し、この教訓の上に立って、新たな宮城高齢協のよくなる前進を作りだそうではありませんか。」

**2020年からの新体制**

理事会に二役会議に直結する「法人運営会議」を設立しました。この「現場の正規職員を入れて、事業と運動を進めていく為の政策を考え、現場に実践を推奨していく役割を担っていきます。」

(2020年度「事業の運営に関する組織図」)



いろいろ庵（びし）の利用者さんがマスクを手作りしています。  
市販でも布製のマスクが販売されていますが、作った人の顔が浮かぶのは、とても楽しく、笑顔になるものです。  
みなさんも手作りのマスクに挑戦してみませんか？



手作りマスクはインターネットでいろいろ検索できます。型紙が欲しい方は、仙台市泉中央老人福祉センターまで取りに来ていただくと、無料にて差し上げます。事前に連絡をお願いいたします。  
仙台市泉中央老人福祉センター  
電話022-373-1285  
月～土（祝日除く）の  
9:30～16:30  
担当：渡邊せつ子

役員一覧

役名	氏名	略歴等
理事長 (代表理事)	丹野 幸子	日本社会連帯機構理事 石巻地域福祉事業所責任者
副理事長 (代表理事)	伊藤 恵仁	宮城県生活協同組合連合会理事
専務理事	長尾 智美	日本高齢協連合会理事 小規模多機能型居宅介護・看護師
理事	鈴木 孝志	専務補佐・本部嘱託財務担当
理事	遠藤 昇	石巻地域福祉事業所ひなたぼっこ
理事	加藤 公子	名取地域福祉事業所名取センター 泉老人福祉センター・教室講師
理事	小岩 真理子	介護・福祉ネットみやぎ理事 小規模多機能型居宅介護・管理者
理事	坂林 哲雄	日本高齢協連合会副会長理事
理事	佐藤 郁子	元黒松杜っこ・指導員
理事	白鳥 誠	設計士
理事	永野 まり子	高森憩いの家副会長 元囲炉裏庵たかもり管理者
理事	半澤 晃	泉中央老人福祉センター館長
理事	平上 博資	泉中央老人福祉センター顧問医
理事	水戸部 秀利	医師、若林クリニック所長
理事	三船 洋人	センター事業団東北事業本部総務・経理センター長
監事	竹内 信男	株式会社里山林農元気村社長
監事	横尾 盛雄	特定社会保険労務士

【編集後記】

街には新型「コロナウイルス」が隠れています。どこに居るのかわかりません。居場所が探せません。なぜなら見えないからです。

今、仕事を見える化するようが行われています。一緒に仕事する人がどんな仕事をそれぞれやっているのか共有できるからです。そうすることで安心も感じます。仕事の進行具合も確認出来ます。お互いに仕事が見えることが大事なのです。

「コロナウイルスは無臭で見えない物なので、わざわざ臭いをつけています。」

「コロナウイルスも臭いさえついていけば、見えないでも居場所がわかるのに・・・」

「フクチンの開発は数年かかると言われています。ならばそれまでに、見えない「コロナウイルス」と共存していく生活スタイルを作り上げ、実践していくしかないかもしれませんね。」

マスク着用と比較的抵抗が少ない日本人ならば、互いのエチケットを守り、健康に関心を持ち、少し距離を置いて人との関係性を保つていくことをめざらためて考える次第です。  
(編集部 藤田)

日常生活に「新しい生活様式」を  
せんだい生活スタイル

- だ 大事な人を守るために
- て 手洗い30秒
- ま マスクをしよう
- さ 3密避けて
- む 向かい合わない
- ね ネットも活用

① 仙台市